市指定文化財<天然記念物>

華厳山広勝寺碑<建造物>
広勝寺木造観音立像<彫刻>

指定日　昭和38年7月23日

所在地　菊池市泗水町住吉　北住吉

広勝寺は、「肥後国誌」によれば天正年間（1573～1591）に宣安和尚がこの地に開いたとされる。

（1）広勝寺碑　近世になり衰微したこの寺を、享保12年（1727）に禅定寺12世面山和尚が再興した。小堂の庭先の碑はこの時のものである。

表に毛書体で「華厳山広勝碑」と記し、他の3面には寺の縁起が刻まれているが、ほとんど読むことができない。

（2）木造観音立像　高さ18cmの台座に、金箔を施し頭部に鉄冠、長衣姿（両腕は折損）、胸布掛けの立像である。

このほか、左に閻魔像（木造、高さ135cm）と右に開山像（木造、高さ38cm）、また合志弾正大忠源鎮増の位牌がある。合志一族の位牌と元禄12年（1699）没の庵主の位牌が安置されている。

また、広勝寺では毎年3月18日に北住吉が4組に別れ、順番に受け持って朝掃除をして皆が集まり、馬頭観音祭りが行われ賑わっている。